

# 目 次

**「Ctrl」キーを押しながら目次欄（下線部分）をクリックすると、該当ページまで移動します。**

<a href="#">出席委員</a> . . . . .	2
<a href="#">保健福祉課の予算審査</a> . . . . .	4
<a href="#">子ども支援課の予算審査</a> . . . . .	17
<a href="#">総括質疑及び現地調査箇所の選定</a> . . . . .	22

※本会議録で使用している漢字は、汎用性等を考慮し、「JIS第1水準漢字」を使用しています。  
このため、人名や地名などの固有名詞等において、実際の漢字とは異なる表記となっている場合があります。

令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

令和2年 利府町議会予算審査特別委員会会議録（第3号）

---

令和2年3月6日（金曜日）

---

出席議員（1名）

議長 吉岡伸二郎 君

---

出席委員（16名）

委員長 鈴木忠美 君

副委員長 木村範雄 君

委員 今野隆之 君

鈴木晴子 君

伊藤 司 君

伊勢英昭 君

土村秀俊 君

永野 涉 君

渡辺幹雄 君

渡邊博恵 君

西澤文久 君

坂本義也 君

安田知己 君

高久時男 君

遠藤紀子 君

羽川喜富 君

---

欠席委員（1名）

及川智善 君

---

説明のため出席した者

副町長

櫻井やえ子 君

財務課長

後藤 仁 君

保健福祉課

課長

伊藤文子 君

健康づくり班長

櫻井明子 君

健康づくり班技術主幹

守山明子 君

健康づくり班技術主幹

庄司千春 君

福祉班長

小畑香代 君

福祉班技術主幹

柏崎裕子 君

令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

長 寿 介 護 班 長	堀 越 伸 二 君
長 寿 介 護 班 主 幹	大 枝 大 将 君
長 寿 介 護 班 主 査	小 野 寺 裕 子 君
子ども支援課	
課 長	鈴 木 義 光 君
子ども未来班長	谷 津 匡 昭 君
子ども未来班技術主幹	岩 田 和 子 君
子ども未来班主任主査	洞 口 育 子 君
子ども支援班長	青 柳 久 美 子 君
子ども支援班主幹	佐 藤 瑞 穂 君
子ども支援班主査	加 藤 範 晃 君
東 部 地 区 子 育 て 支 援 セ ン タ ー 所 長	伊 藤 香 君
菅 谷 台 保 育 所 長	川 村 か お る 君

議会事務局職員出席者

事 務 局 長	菅 井 百 合 子 君
主 幹	土 屋 俊 介 君
主 任 主 査	利 玲 子 君
主 事	名 取 俊 輔 君

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

午後1時26分 開 議

○委員長（鈴木忠美君） これより予算審査特別委員会を開催します。

本日、会議規則第2条の規定により、13番及川智善委員から欠席届が提出されております。よって本日の出席委員は16名です。

審査日程表により進めてまいりますので、円滑な議事運営に御協力願います。

審査に入る前に申し上げます。質疑は1人2問から3問程度とし、それ以上の質疑がある場合には質疑が一巡した後をお願いします。また、質疑の際はわかりやすく簡潔をお願いします。さらに、質疑が重複しないようできるだけ関連質疑で対応するようお願いいたします。

それでは、審査日程表により**保健福祉課の予算審査**を始めます。

所管事項の内容説明を願います。保健福祉課長。

○保健福祉課長（伊藤文子君） それでは、令和2年度保健福祉課関係の当初予算について、一般会計予算、介護保険特別会計予算の順に、主なものについて御説明いたします。

初めに、一般会計予算の歳入から御説明申し上げます。

令和2年度利府町各種会計予算説明書①の11ページをお開きください。

17款1項1目民生費国庫負担金1節社会福祉費負担金2億1,691万8,000円につきましては、障害者自立支援医療費及び障害者自立支援給付費に要する事業費の2分の1の負担率で計上しており、障害者自立支援給付費負担金につきましては、前年度より506万4,000円増の2億299万2,000円を計上しております。

12ページをお開きください。

17款2項2目民生費国庫補助金1節社会福祉費補助金につきましては、障害者・障害児の日常生活用具給付事業や移動支援事業など地域生活支援事業に要する事業費の2分の1の補助率で892万9,000円を計上しております。3目衛生費国庫補助金2節疾病予防対策事業費等補助金539万8,000円につきましては、新たな事業としまして緊急風しん抗体検査等事業に要する事業費の2分の1の補助率で計上しております。

16ページをお開きください。

18款2項3目衛生費県補助金4節がん患者医療用ウィッグ購入助成事業費補助金15万円につきましては、令和2年度から実施を予定しております、がん患者の方への治療と就労や社会参加等の両立支援を行うため購入された医療用ウィッグの一部助成として、経費の2分の1の補助率で計上しております。なお、対象者は15名を予定しております。

18ページをお開きください。

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

18款3項2目民生費委託金1節人権啓発活動市町村委託金56万9,000円につきましては、令和2年度、法務省から委託される人権啓発活動地方委託事業委託金となります。

続きまして、歳出の主な項目について御説明いたします。

51ページをお開きください。

3款1項1目社会福祉総務費につきましては、社会福祉事業及び障害福祉事業に要する経費として、前年度より1,802万9,000円増の7億4,341万7,000円を計上しております。増額の主な要因としましては、52ページをお開きください、12節委託料の地域障害・障害児福祉計画策定業務に伴う委託料の増額と、53ページをごらんください、19節扶助費において、介護給付費や訓練等給付費及び障害児給付費の各給付費を前年度実績に基づき計上したことによるものでございます。

54ページをお開きください。

2目高齢者福祉費につきましては、一般の高齢者福祉事業に要する経費として、前年度より595万8,000円減の4,734万1,000円を計上しております。減額の主な要因といたしましては、職員1名の減によるものでございます。

55ページをごらんください。

18節負担金、補助及び交付金の負担金、松島長松苑建設負担金につきましては、独立行政法人福祉医療機構への償還について、当初支払い開始が平成12年度から1年猶予され平成13年度からの償還開始となったことから、今年度最後の負担分となり、127万8,000円を計上しております。また、利府町シルバー人材センター事業の補助増額につきましては、令和元年度に引き続き国の働き方改革による高齢者の就労の場の確保を目的に、会員の増加分及び会員の安全就業に関する成果が顕著であるシルバー人材センターに対して補助金が加算されたことに伴い135万円増の1,437万5,000円を計上しております。

56ページをお開きください。

3款1項4目保健福祉センター管理費につきましては、管理運営に要する経費として前年度とほぼ同額の3,091万9,000円を計上しております。

57ページをごらんください。

7目介護保険事業費につきましては、介護保険運営に要する一般会計分として、前年度より3,223万4,000円増の3億3,939万5,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、介護給付費の増によるものでございます。

65ページをお開きください。

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

4款1項1目保健衛生総務費につきましては、職員人件費及び保健事業の事務に要する経費として、前年度より361万8,000円増の6,907万4,000円を計上しており、増額の主な要因としましては、人件費の増額によるものであります。

66ページをお開きください。

4款1項2目予防費につきましては、予防接種など予防事業に要する経費として、前年度より1,558万3,000円増の1億1,503万6,000円を計上しております。増額の主な理由といたしまして、新たに風疹抗体検査及び風疹定期接種業務に関連する委託料の増額によるものでございます。

67ページをごらんください。

3目健康増進事業費につきましては、各種検診に要する経費として前年度とほぼ同額の6,639万2,000円を計上しております。

68ページをお開きください。

4款1項4目母子衛生費につきましては、母子保健事業に要する経費として、前年度より337万9,000円増の4,797万4,000円を計上しております。増額の主な要因としましては、会計年度任用職員に要する諸経費となっております。

引き続きまして、介護保険特別会計予算について御説明申し上げます。

令和2年度利府町各種会計予算説明書②の23ページをお開き願います。

令和2年度利府町介護保険特別会計予算の総額は、歳入歳出それぞれ21億6,172万4,000円で、前年度より1億1,216万2,000円の増となっております。

初めに、歳入の主な項目を御説明いたします。

25ページをお開きください。

1款1項1目第1号被保険者保険料5億5,599万8,000円につきましては、第7期介護保険事業計画で算定しました保険料月額5,400円、被保険者数を8,319人で現年度分の保険料を見込み、前年度より498万5,000円の増となっております。

次に、3款1項1目介護給付費負担金につきましては、前年度より2,078万2,000円増の3億5,814万9,000円で、介護給付費の増加に伴う増となっております。

3款2項2目介護予防地域支援事業交付金につきましては、前年度より150万7,000円増の847万6,000円で、町及び各地域包括支援センターで実施する各種介護予防事業に対する交付金となっております。

26ページをお開きください。

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

4款1項1目介護給付費交付金につきましては、前年度より2,935万4,000円増の5億3,659万2,000円と、5款1項1目介護給付費負担金につきましては、前年度より1,455万1,000円増の2億8,774万8,000円、及び、27ページをごらんください、7款1項1目介護給付費繰入金につきましては、前年度より1,359万円増の2億4,842万2,000円となっており、4款、5款も同じく介護給付費の増加に伴う増額となっております。5目その他一般会計繰入金につきましては、高齢者福祉計画、第8期介護保険事業計画策定に係る経費及び職員の増により1,359万1,000円増の6,447万5,000円を計上しております。

続いて、歳出の主な項目を説明いたします。

29ページをお開きください。

1款1項1目一般管理費につきましては、人件費の増及び高齢者福祉計画、第8期介護保険事業計画の策定に伴い、前年度より1,135万6,000円増の3,511万6,000円を計上しております。

31ページをお開きください。

2款1項介護サービス等諸費につきましては、1目居宅介護サービス等給付費から4目介護サービス計画給付費までの総額で、前年度より1億499万5,000円増の18億1,839万1,000円を計上しており、次に、2款2項介護予防サービス等諸費につきましては、1目介護予防サービス等給付費から、32ページをお開きください、3目介護予防サービス計画給付費までの総額で858万円増の5,538万円を計上しており、続きまして、34ページをお開きください、5款1項介護予防生活支援サービス事業費につきましては、合計で前年度より593万9,000円増の2,634万6,000円を計上しております。これらの増額の主な要因としましては、サービス利用者によるものであります。

5款2項1目一般介護予防事業費につきましては、前年度より309万5,000円減の1,367万8,000円を計上しており、介護予防を推進するため各種講座の開催に要する経費や、地域における居場所づくり活動を支援するための事業費及び介護支援ボランティア活動事業に要する経費を計上しております。減額の主な要因としましては、職員減によるものであります。

以上が介護保険特別会計の予算でございます。

これで保健福祉課所管の当初予算の説明を終わります。よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 まず、3点お願いいたします。

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

まず1点目は、53ページをお願いいたします。

3款民生費の中で14節工事請負費、これが児童デイサービスセンターの解体工事となっております。今回解体をして新しく建て直すものと思えますけれども、その主な内容を教えてください。

2点目は、65ページの4款衛生費の中で7節報償費、額はとても小さいんですけども、献血の記念品が少し下がっております。献血というのは非常に大事と思えますけれども、献血に対する力が弱くなるのではないかと心配しておりますが、その下がった理由をお願いいたします。

もう1点は、66ページの4款衛生費2目予防費の中で報償費、ここに自殺対策のネットワーク会議の検討委員会というのがございました。これは新たにつくった委員会なのか、委員の内訳をお願いいたします。

以上3点。

○委員長（鈴木忠美君） ただいまの質疑に対し当局答弁願います。小畑班長。

○保健福祉課福祉班長（小畑香代君） それでは、遠藤委員の1点目の御質問にお答えいたします。

こちらのほうの森郷デイサービス、児童デイサービスの解体工事でございますが、こちらのほう、現在、社会福祉協議会が放課後等デイサービス「すきっぷ」という事業で使用している建物になります。こちらのほうは、平成21年度から町のほうで当初は児童デイサービス事業所が少なかったというところで社会福祉協議会と協議をしてこちらのほうで事業を実施していただいて、また、始まった当初は放課後等デイサービスの報酬も低かったというところで、町のほうで土地の賃借料をお支払いして、あと町の建物をお貸ししてという形で事業を実施してまいりました。現在、町内には放課後デイサービスだけで8事業所ございます。皆さん障害児の方々、保護者の方々も事業内容を、事業所の特徴を見てそれぞれの事業所に通所しておりますし、それを求めてということで町外の事業所の利用者も多いところでございます。社会福祉協議会以外の事業所につきましては、民間ですので御自分の資本で参入していただいて事業を運営していただいているところですので、現在町のサービスも充足してきているというところと、1事業所にずっと継続して支援をするというのは不公平感があるということで、長い間社会福祉協議会と協議をしまして、どうしますかというところになったところ、社会福祉協議会のほうでは、建物も古くなって修繕も必要だということでしたので、こちらの場所では事業を継続はしないんですが、生涯学習センターのほうの本部がありますそちらの敷地内でまた町の建物



## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

をちょっと借りるような形にしてまず事業をやってみて、今後の体制を整えるというところが社会福祉協議会のお答えでしたので、使わなくなった建物につきましては、土地の地権者さんには建物を解体してお返しするということになっておりますので、今回解体工事の費用を上げさせていただきました。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 遠藤委員の2点目の献血に関する御質問にお答えいたします。

献血につきましては、献血の協力者は減少している事情がございます。それに伴いまして、県の採血目標人数等も減少しておりまして、回数等が若干少なくなってきております。今年度も15回は行っておりますが、そちらに伴いまして記念品としてお渡しする個数が減ったことによりまして減額となっております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 守山技術主幹。

○保健福祉課健康づくり班技術主幹（守山明子君） 遠藤委員の3つ目の質問にお答えいたします。

利府町自殺対策計画につきましては、昨年度末に計画を策定し、本年度から本計画に基づき地域の関係機関と連携するためのネットワーク会議を立ち上げたところでございます。会議のメンバーとしましては、町内の医師、塩釜保健所の職員の方、警察署、消防署、社会福祉協議会、地域包括支援センター等関係機関12団体の方と、町内の各関係部署の職員となっております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 では1点目から。このデイサービス、非常に障害を持つ方たちからはこの組織があつてとっても助かったという声を聞きました。今回建て直すと思っておりましたけれども、あくまでも解体で、土地をお返しするという形で、生涯学習センターの中で一応、どのような規模になるかわかりませんが、社協として運営をしてくださるといふ、少し安心いたしましたけれども、やはり学校から帰ってきてからの預かりというのは非常に保護者の方にはありがたいというお声を聞きますので、ぜひ生涯学習センター、実現をしていくためにも町は協力していただきたいと思いますが、その辺を伺います。

それから、献血の件ですけれども、今盛んにインフルエンザの騒ぎの、コロナの騒ぎの中にあつて非常に献血量が少ないというニュースをきのうやっておりました。回数も15回ですか、もう少しここら辺は町としても、全国的に血液が足りない、特にO型、私もO型ですけれども

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

年の関係でできないものですから、ぜひ若い方には献血をしていただくように、ここら辺もちょっと学校教育の中でも受け入れていただくなり、少し献血の大切さというものを、白血病の水泳選手の方のこともございましたし、ぜひもう少し力を入れていただきたいと思います、御意見を伺います。

それから自殺対策ですけれども、いよいよ何か始まったという感じがいたしますし、町内でも若い方が亡くなったりいろいろあることですし、ここら辺は学校関係との連携はいかがでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 小畑班長。

○保健福祉課福祉班長（小畑香代君） 遠藤委員の再質問にお答えいたします。

1点目ですが、今回、先ほど御説明いたしましたように、社会福祉協議会さんへの「すきっぷ」の建物だったり土地というところの支援は終了させていただきますが、本町の障害児のお子さんを広く受け入れていただいてもおりますし、福祉班には保健師もおりますので、技術面とか相談というところで支援をしていきたいと考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 2点目の遠藤委員の再質問にお答えいたします。

献血につきまして、やはり若い方への呼びかけというのは町といたしましても大変大事と考えておりますので、今後とも周知のほうを進めてまいりたいと思います。

3点目の自殺対策における学校との関連というところでございますが、ネットワーク会議の中にも小中学校の校長会の代表の方、また校長会の集まりの場におきましてもこういった取り組みを今行っているというところを御紹介させていただきながら、連携しながら対応してまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。そのほかに質疑ございませんか。9番安田委員。

○安田知己委員 2つお聞きします。補足資料説明資料のほうでお願いします。

まず、72ページ、2番に65歳以上の高齢者人口の推計と要支援・要介護認定者数の推計というのがあるんですけども、ここでは要支援・要介護者が1,347人とされているんですね。ちょっとそこでお聞きしたいんですけども、要支援・要介護ということで、介護が必要だと認められた方の中で介護サービスを全く使っていないという人は何人ぐらいいるのか、過去のデータでも今の数でもいいので、そこを1つお願いしたいと思います。

2つ目が、同じ説明書の中の81ページ、（3）包括的支援事業の中で、地域包括支援センター事業費というのがあります。ちょっとお聞きしたいんですけども、北部地域包括支援セン

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

ターの利用状況というのはどうなっているのでしょうか。花園とか皆の丘の方々からお聞きしたんですけれども、ここに通うための足がないと。公共交通も不便なので行くにはすごく大変なんだというような意見が出ているんですよ。北部地域包括支援センターの利用促進をもっと高くするためには足の確保というのも必要なのではないかなと思うんですが、その辺について御意見をお聞きします。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 安田委員の御質問にお答え申し上げます。

まず、1点目の介護認定を受けている方で介護サービスを利用していない人数につきましては、令和元年12月末現在にはなりますが、被保険者数、総数で8,280人、介護認定者の総数が1,245人、うちサービス未利用者が248人ということで、介護認定者の19.92%の方が未利用ということになっております。

2点目の北部地域包括支援センターの利用状況についてでございますが、令和2年の1月末現在の65歳以上の対象者、北部地域の管轄の65歳以上の方になりますと8,200人ほどいらっしゃいます。そのうちの利用状況とっていいのかわれませんが、相談件数でいいますと1月末現在で延べ506件ほどいただいております。

御質問の中の北部地域包括支援センターの現在地につきましては、各団地からのアクセスについて、御指摘のとおり自家用車がない場合不便さを感じるということがあると思います。これにつきましては町のほうでも承知はしております。その解決策といたしまして、できるだけ高齢者の総合相談窓口である包括支援センターの職員がお宅を訪問し、町長が公約とかでも申し上げているとおり、アウトリーチ型の相談業務の実施をして、アクセスの不便さの解消に向けて努めてまいっておりますので、御理解のほどよろしく願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 9番安田委員。

○安田知己委員 わかりました。北部地域包括支援センターのほうですけれども、アウトリーチ型ということなので、これからもなお一層の善処をお願いしたいとこっちは思います。

介護保険につきましては、少し前のデータですけれども248の方が全くそのサービスを使っていないということだったんですけれども、介護が必要とされているのに介護サービスを利用していない人の要因というのもちよっと考えていただきたいなと思うんですよ。要因の1つは、多くの高齢者が介護の必要性ではなくて重い利用料負担によって幾ら払えるか、払えるお金によって受けるサービスを決めざるを得ないようなそういった状態が考えられるんじゃないかなと思うんです。やっぱりこれは、使いやすい介護にするためには、何かしらの解決策というか

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

町の支援が必要だと思うんですけれども、その辺についてお伺いします。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 安田委員の再質問にお答え申し上げます。

確かに委員御指摘のとおり、今、2割3割の負担も出てきていますので、1割であっても利用者の負担が重く感じられる方も中にはいらっしゃると思います。町のほうでサービス未利用者の原因として今考えていることが、介護度の高い方であれば病院に入院中の方が多いのかなということだと思っております。介護度の低い方の中でサービスを利用されていない方につきましては、住宅改修や福祉用具の購入を行っている方とか、病院に入院中の中で、病院の先生のほうから退院後に備えて介護保険の認定を取っておいたほうがいいのかという場合もございます。退院した後に状態が改善される方も中にも多いという形もあります。もう1点、周りの方が介護保険の認定を受けていますと。それによって、万が一自分が受けるときにどうなったらどうしようかなということもあって、万が一に備えて介護保険の認定を取られる方もいらっしゃると思われまので、いろんな方もいらっしゃいますので、町の自己負担が、利用者負担が重く感じられる方につきましてはいろんな軽減制度とかもございまして、そちらを御利用していただいで、できるだけサービスの利用促進につなげていきたいなと思っております。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。3番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 2点お願いいたします。

①のほうの66ページ、お願いします。

4款1項1目予防費でございますが、12節委託料の風しん抗体検査クーポン券のほうで、クーポン券を送るとなっているかと思いますが、送るだけではなく周知のほうというか啓発活動も大事ではないかと思っておりますが、どのようなものを検討しているのかお伺いいたします。

それから2点目、②のほうの34ページ、お願いします。

5款2項1目一般介護予防事業費ということで、18節負担金、補助及び交付金ですけれども、高齢者のいきいき活動ポイント事業ということで25万計上されておりますが、こちらのほうの、どの程度の人数の方、活動している方を見込んでいるのかという部分と活動の内容、それから手続をどのように行っているのかお伺いいたします。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 当局答弁願います。櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 鈴木委員の風しんクーポンに関する御質問にお答えいたします。

風しんクーポンの利用につきましては、対象者に個別の御通知、その中に説明文と、その後

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

ホームページや広報等で周知をさせていただいております。広報につきましては、年度内の終了近くなりましたので、今現在また再度周知しているところとなります。

○委員長（鈴木忠美君） 大枝主幹。

○保健福祉課長寿介護班主幹（大枝大将君） 鈴木委員の御質問にお答えいたします。

高齢者いきいき活動ポイント事業についてでございますが、現在、社会福祉協議会に準備を委託しております。委託内容としましては、ボランティアの講習会の開催、そういった手帳の交付、保健の加入等やっておりますけれども、申請については社会福祉協議会もしくは福祉センターの窓口にてそちらの登録を行っていただきまして、まず講習会を受けていただきます。現在29名の方が登録されておまして、男性6名、女性23名登録しております。

主な活動内容といたしましては、実際に介護施設等に行きまして、配膳、下膳のお手伝い、あとは施設管理の中でボランティア事業として活動していただいております。現在、1日の活動としては、当然受け入れできる日程とか内容等がございます。また、今こういつた時期でございますので、ボランティアの遠慮という話も出てはおりますけれども、皆さんお互い受け入れ施設、登録者の方のボランティアに対するそういった意気込みとかそういった活動を支持していただきまして、1年間を通しての活動内容としております。その活動につきましては、1年間社会福祉協議会のほうで取りまとめた後そちらをポイント制で換金をいたしまして、交付金として4月に実績報告をもとにそちらの方に振り込みを行っているところでございます。以上でございます。

○委員長（鈴木忠美君） 3番鈴木委員。

○鈴木晴子委員 それでは、1点目の風しんクーポンのほうでございますが、本当に風疹の怖さをお知らせしていくことは本当に大事なことで、対象者のみならず対象者の付近、周りの方に進めていくことも大事だと思います。そういう面では、対象者の親世代の方への周知であったりだとか、保護者がいる学校であったり保育所であったり幼稚園であったり、そういうふうなところでの周知も必要ではないかと。広報紙とホームページでは行っているということでしたが、そのような手法も図りながらこの怖さを伝えていくべきではないかというふうに思っております。その部分お伺いいたします。

それから高齢者のいきいき活動のほうでございますが、高齢者の施設での活動、お手伝いで、ボランティアでポイントがつくということございましたけれども、活動について、高齢者の施設だけではなく、一時期でもいろいろと手伝いをさせていただきたい部分というのはあるかと思うんですね。そういう部分では高齢者のごみ出しの手伝いであったりだとか細かい部分が出

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

てくるかと思いませんか、そのような体制を整えられるようなものなのかお伺いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 当局答弁願います。櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 鈴木委員の再質問にお答えいたします。

風疹の予防についての取り組みというところで、クーポンに関しては個別の通知等になっておりますが、この事業につきましては、ホームページなど幅広く、また風疹の怖さについてということにつきましても周知しているところになります。

ただ、今回対象者以外の世代について、あるいは保護者等の周知ということのお話をいただきましたので、この点につきましては今後の参考とさせていただきたいと思っております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 鈴木委員の再質問にお答え申し上げます。

地域での活動等のサポートについてもできればいいのかなということも、委員御指摘のとおり、私たちもその辺は考えてはいるんですが、まず施設等活動の場所をもうちょっと検討して、今年度あたり検討していきたいなということでは今考えてはおります。

あともう1点のごみ出し等のサービス、サポートもできないかということだと思うんですが、ごみ出しとかにつきましては仙台市とかが実施はしております。こちらについてはいろんなやり方が多分あると思うんですが、今なにせ登録されている方が29名ということもございまして、ごみ出しの必要と感じられる方がやはり多くいらっしゃる、地域の中でいらっしゃると思っておりますので、今後の第8期計画の中で、ごみ出しのサービスとかそういったものも含めまして総合的に第8期介護保険事業計画の中で検討していきたいなと考えておりますので、御理解のほどお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 お願いいたします。

説明書の①の67ページです。4款衛生費の中の健康増進事業費19節扶助費で、先ほど歳入のほうで御説明ありました医療用ウィッグの件ですけれども、2分の1の補助が出ておりましたけれども、15名分というお話でした。この医療用ウィッグというのは、例えば抗がん剤ですとか放射線等々でウィッグが必要になった方の分かと思っておりますけれども、15名分というのはどういう査定といいますかこの人数を出されたのかをまずお聞きいたします。

2点目は、今も鈴木晴子委員が質問なさったページ数は同じなんですが、②のほうの34ページ、一般介護予防事業費の中で、まず10節需用費で印刷製本費150万出ております。これは非常に大きい額なんですけれども、どういった内容の印刷をなさるのかをお願いいたします。

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

それと同じところですが18節の負担金、補助及び交付金のところで、補助金の高齢者の居場所づくり活動支援事業、これは前年度もありましたいろいろな御意見が出ているというお話も伺いました。ここでどんな点を見直したのかをお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 遠藤委員の1問目の御質問にお答えいたします。

医療用ウィッグの人数の算定についてということでございますが、がん治療の中でも乳がんの化学療法で使用する薬剤による脱毛を生ずることが多いということから、県で提供する乳がんの罹患者推計をもとに15人という数を算定いたしております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 遠藤委員の御質問にお答え申し上げます。

まず、需用費の印刷製本費150万円につきましては、委員のほうから一般質問のほうで前いただいております高齢者のハンドブック的なものを町のほうでも今回第8期計画にあわせて作成を考えているところでございます。その関係で当初予算のほうに計上させていただいております。

あと2点目の負担金の補助、高齢者居場所づくりのほうの補助金につきましては、行政区長と議員の懇談会でもあったように、まず検討事項といたしまして時間的なところ、3時間以上というところの部分と回数の部分につきまして見直しを図っていききたいなということで考えております。内容的には、おおむね時間につきましては2時間以上、回数につきましては毎月1回ということではなくて1回当たり幾らという形で、できるだけ少ない回数からでも開催ができるような形のものと考えて、手軽にこの補助金を使っていつでもどこでも、集会所かどこかわかりませんが、いつでもどこでも行けるような状況ができればいいのかなというのが町で考えているところではありますので、そういった今不都合と言われているところについて今見直しをかけてやっていきたいなと考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 まず、医療用のウィッグですけれども、乳がん、特に若い方が割合に治療に当たられる方も多いと思います。このウィッグというのは大体お幾らぐらいするものなのかをお伺いいたします。

それと2点目の印刷製本費は、私はお礼を言わなければなりませんけれども、子育てハンドブックのようなものがほしいという要望に対して応えていただけたのかなと思いますので、ぜひよろしくをお願いいたします。

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

高齢者の居場所づくりですけれども、先ほども地域包括支援センターの話がございましたが、なかなか要支援とか受けてもデイサービスに行っていない、男の方が特に多いものですから、非常に時間も2時間以上、そして1回からというような形でやっていただけるのは非常に地域でもいろいろなものを動かしやすいと思いますが、その中でもまたぜひ男の方の居場所というのに力を入れていただきたいと思いますが、その点はいかがでしょう。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 遠藤委員の再質問にお答えいたします。

医療用のウィッグ、確かに金額の幅が広く、数万円から数十万円にもなるものもあるということで、今回は1件当たりの2万円というところを設定しております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 堀越班長。

○保健福祉課長寿介護班長（堀越伸二君） 遠藤委員の再質問にお答え申し上げます。

男の方の居場所づくりということで、町のほうで今考えているのが、町の事業として男性の方が出席しやすいような教室を何かできないかということで今試行錯誤している状況です。そういったこともありますので、できればいろんな趣味とかそういったものが一致していただければ参加もしやすいのかなというのもあるので、当初予算の中でも能力アップ教室というのを来年度、令和2年度につきましては回数を少し多目にして、その中で男性の方の教室等もちょっと考えていきたいなということで考えておりますので、御理解のほどお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 それでは1点だけ。この医療用ウィッグですけれども、今もお答えがありましたように、実は私もちょっと手術をして検討したことがあるものですから、若い女性が使うのには2万円をいただいても余りいいものが手に入らないのではないかと思いますし、これがどのようにして申し込むのかとか、それとこういうものがありますというのは私も身近にこういう治療を受けた方もいらっしゃるものですから、ぜひその辺の広報もお願いしたいと思いますし、改めてこの2万円という額を令和2年度で実施してみて、改めて検討していただきたいと思いますし、時代的にもこういうものは求められる時代だと思いますので、その辺のお答えだけお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 遠藤委員の再々質問にお答えいたします。

ウィッグの助成につきましては、上限を2万円、あとは購入額の2分の1というような形で今検討しております。周知につきましては、やはり多くの方に知っていただくということで、



## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

広報やホームページ等でも積極的に周知してまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。関連。9番安田委員。

○安田知己委員 医療用ウィッグについてちょっと聞かせてほしいんですけども、上限2万円ということだったんですけども、2万円の助成があるかわりに3万円というところもあるんですよ。地域によって少し差があつて、遠藤委員への答弁にもありましたが、女性の方だと10万から30万というようなウィッグ、非常に高額だと、そういった意見もあるんですよ。これは今回2万円でスタートしますけれども、利用者の方々の意見を聞いて、それではどうしても足りないんだとか、そういった声を聞いて今後検討していかなければならないのではないかと思います、それについてお願いします。

○委員長（鈴木忠美君） 櫻井班長。

○保健福祉課健康づくり班長（櫻井明子君） 安田委員の御質問にお答えいたします。

今回は、県の補助対象額等を基準に町のほうでも上限2万というところを考えております。また、これから新たに始まっていく事業となりますので、今後の状況において随時検討してまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 質疑がありませんので、以上で保健福祉課の予算審査を終わります。

当局は退席願います。

ここで、暫時休憩します。再開は14時25分とします。

午後2時16分 休 憩

---

午後2時25分 再 開

○委員長（鈴木忠美君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

審査日程表により子ども支援課の予算審査を始めます。

所管事項の内容説明を願います。子ども支援課長。

○子ども支援課長（鈴木義光君） それでは、子ども支援課の令和2年度当初予算について、各種会計予算説明書①により説明いたします。

初めに、歳入から説明いたします。

7ページをお開きください。

15款1項2目民生費負担金2節児童福祉費負担金9,058万2,000円につきましては、町内認可

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

保育所8施設の保育所保育料負担金と菅谷台保育所の延長保育料負担金及び一時預かり保育料負担金を計上しております。前年度に比べて7,321万1,000円、44.7%の減で、主な理由としては、令和元年10月から幼児教育・保育の無償化が実施されたことにより、3歳以上児の保育料が無償となったことによる減額となっております。3節児童福祉費負担金滞納繰り越し分につきましては、保育所保育料負担金の滞納繰り越し納入見込み額17万円を計上しております。

8ページをお開きください。

16款1項2目民生使用料2節児童クラブ使用料につきましては、町内児童クラブ7カ所の使用料として2,154万5,000円を計上しております。前年度に比べて64万9,000円、3.1%の増で、利用を希望する児童の増加に伴い使用料が増額となっております。

11ページをお開きください。

17款1項1目民生費国庫負担金3節児童福祉費負担金のうち、施設型給付費負担金と地域型保育給付費負担金及び幼児教育無償化事業交付金を合わせた6億247万5,000円、及び、14ページをごらんください、18款1項2目民生費県負担金3節児童福祉費負担金のうち、施設型給付費負担金と地域型保育給付費負担金及び幼児教育無償化事業交付金を合わせた3億259万6,000円につきましては、施設型給付を受ける幼稚園3施設、また広域利用施設の4施設、町内の特定保育施設8施設、地域型保育施設5施設及び事業所内保育施設1施設の運営に対する国及び県からの負担金を計上しております。

12ページにお戻りください。

17款2項2目民生費国庫補助金2節児童福祉費補助金のうち、子ども支援課関係につきましては、説明項目3段目の地域子育て支援拠点事業費補助から幼児保育事業費補助までの7事業及び実費徴収に係る補足給付事業費補助で6,447万6,000円を計上しております。地域子育て支援拠点事業費補助につきましては、町内5カ所に設置している子育て支援センターの運営に対する国庫補助金として1,609万7,000円を計上しております。放課後児童健全育成事業費補助につきましては、町内小学校区に開設している児童クラブ7カ所の運営に対する国庫補助金として4,037万9,000円を計上しております。前年度に比べて1,061万4,000円、19.7%の増となっており、増額の主な内容につきましては、児童クラブの利用を希望する児童の増加分のほか、放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業分として567万4,000円が増額となったものであります。

15ページをお開きください。

18款2項1目総務費県補助金1節市町村振興総合補助金のうち子ども支援課関係につきまし

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

では、低年齢児保育施設助成事業費補助ですが、町内の認可外保育施設の運営に対する県補助金12万3,000円を計上しております。2目民生費県補助金3節児童福祉費補助金のうち子ども支援課関係につきましては、説明項目2段目の地域子育て支援拠点事業費補助から子育て支援情報発信事業費補助までの6事業と、16ページをお開きください、説明項目3段目の一時預かり事業費補助から延長保育事業費補助までの3事業、子ども・子育て支援事業事務費補助と実費徴収に係る補足給付事業費補助を合わせた計11事業分の県補助金として7,559万1,000円を計上しております。

続きまして、歳出について説明いたします。

58ページをお開きください。

3款2項1目児童福祉総務費につきましては、本年度4,917万9,000円を計上し、前年度に比べて2,758万7,000円、35.9%の減となっております。減額の主な内容につきましては、幼児教育・保育無償化の実施により、これまで実施していたすこやか子育て支援事業が廃止となったことにより減額となったものであります。

59ページをごらんください。

5目保育所費につきましては、本年度15億2,733万円を計上し、前年度に比べて1億3,600万8,000円、9.8%の増となっております。特定教育施設町立菅谷台保育所の運営に要する経費及び民間の認可保育所、認定こども園、小規模保育施設などの保育運営に要する経費となっておりますが、増額の主な内容につきましては、国で定める公定価格の改正による運営費負担金の増によるものです。

別添当初予算関係補足説明資料の42ページ及び43ページをお開きください。

2の教育・保育施設等第3子以降給食費助成事業につきましては、幼稚園や保育園に在籍している第3子以降の児童の給食費を助成する事業で、対象児童180人を見込み1,263万6,000円を計上しております

次に、各保育施設の定員につきましては記載のとおりで、2号及び3号については、前年度と同様の定員となっております。依然として保育所への入所を希望する家庭が増加していることから、各保育所と連携を図り、保育室の受け入れ面積や保育士の配置を十分に確認した上で、国が認めている弾力運用を実施しながら、待機児童の解消に努めてまいりたいと考えております。

予算説明書①にお戻りいただいて、61ページをお開きください。

18節負担金、補助及び交付金13億5,674万6,000円のうち、負担金につきましては特定教育施

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

設3施設、広域利用施設4施設、特定保育施設である私立保育園7施設、認定こども園1施設の計8施設と、地域型保育施設である小規模保育施設5施設と事業所内保育施設1施設の計21施設の運営に対する負担金として12億2,688万6,000円を計上しております。

62ページをお開きください。

補助金につきましては、各保育施設で実施しております延長保育促進事業や一時預かり事業など各種事業に対する補助金として2,879万7,000円を計上しております。6目子育て支援センター費につきましては、本年度6,184万5,000円を計上しており、前年度に比べて819万8,000円、15.3%の増となっております。主な内容につきましては、12節委託料につきましては、利府町子育て支援事業運営業務として子育て広場「十符っ子」運営業務及びファミリーサポートセンター事業の2事業を外部委託とし、効率的な運営を行うとともに、利用者や地域、関係各団体などとの信頼関係の強化を図りながら、子育て家庭の不安の解消や、安心して子育てできる環境づくりを進めてまいります。また、18節負担金、補助及び交付金につきましては、地域子育て支援拠点事業として青山すぎのこ保育園並びにアスク利府保育園内に設置している子育て広場2カ所への補助金として1,540万8,000円を計上しております。7目児童対策費につきましては、本年度4,365万2,000円を計上しており、前年度から307万4,000円、6.6%の減となっております。

63ページをごらんください。

減額の主な内容につきましては、12節委託料の中に前年度予算では第2期子ども子育て支援事業計画策定業務を計上していた分であり、業務完了により減額となったものでございます。8目児童福祉施設費につきましては、本年度1億8,596万1,000円を計上しており、前年度に比べて5,941万6,000円、47.0%の増となっております。

64ページをごらんください。

増額の主な内容につきましては、12節委託料に令和2年度より開館する東部児童館の指定管理料を計上したほか、18節負担金、補助及び交付金に放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を計上したためであります。

以上が子ども支援課関係の令和2年度当初予算の概要となっております。御審議のほどよろしくお願い申し上げます。

○委員長（鈴木忠美君） 内容の説明が終わりましたので、直ちに質疑を行います。

質疑の発言を許します。質疑ありませんか。15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 1点だけお尋ねいたします。

## 令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

64ページの3款民生費の中で、14節工事請負費、児童クラブ静養スペース設置工事とございます。これはどういったものなのか、また児童クラブ全てに設置するのか、内容をお願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 遠藤委員の御質問にお答え申し上げます。

こちらの工事費につきましては、放課後児童クラブ運営指針において設置が努力義務とされている静養スペースの設置を行うものでございます。内容としまして、他の児童と離れて気持ちを落ち着かせるため、または体調が思わしくない場合に利用するスペースとして工事を実施することにしております。運営側との打ち合わせをしまして、静養スペースが今現在ない青山小児童クラブ、菅谷台小児童クラブのサテライトに設置をするということで2カ所予定しております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 今の御説明ですと、青山小と菅谷台小、2カ所だけに設置という意味でよろしいのでしょうか。もう一度お願いいたします。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 再質問にお答え申し上げます。

今回は2カ所のみとなります。ほかに関しましては、二小児童クラブなど本館ある部分に関しましては、十分そのスペースをとれるという状況になっておりますので、業者側と打ち合わせをした上で今回2カ所に工事を行うことしております。以上です。

○委員長（鈴木忠美君） 15番遠藤委員。

○遠藤紀子委員 確認させていただきたいんですが、青山小はたしかサテライトは持っていないと思いましたが、体育館の2階の、割合狭い場所ですけれどもあそこに設置するのでしょうか。

○委員長（鈴木忠美君） 谷津班長。

○子ども支援課子ども未来班長（谷津匡昭君） 再質問にお答え申し上げます。

青山小体育館2階の部分に工事を行う予定としております。

なお、現在は学校のホールをいつでもお貸しいただけるような状態で学校側の御協力をいただいております。また、室外学習をしたい場合だったりとか心を落ち着けたいお子さんがいればこちらのホールを使わせていただいている状況ではあります。なお近くにそういった静養のスペースを設けたいということで、今回は工事を実施いたします。以上です。

令和2年3月予算審査特別委員会会議録（3月6日金曜日分）

○委員長（鈴木忠美君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 質疑がありませんので、以上で子ども支援課の予算審議を終わります。

当局は退席願います。

それでは、最終日に総括して質疑する事項の取りまとめ及び現地調査の箇所の選定を行います。質疑、あるいは御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（鈴木忠美君） 総括質疑及び現地調査がないようですので、これで本日の予算審査特別委員会を散会します。

なお、3月9日は午前9時30分から特別委員会を再開しますので、御参集願います。

御苦労さまでした。

午後2時47分 散 会

---

上記会議の経過は、事務局長菅井百合子が記載したものであるが、その内容に相違がないことを証するため署名する。

令和2年3月6日

委 員 長